浜田１・２・３地区

	～地域で 気になっていること・困っていること～	みんなで協力できること
交通安全・登下校編	○道路が狭いうえに、スピードを出す車が多い。 ○ゾーン３０の範囲がわかりにくい。 ○自転車・キックボード・リップスティックの乗り方のルールを守れていない。 （ヘルメットをかぶっていない、乗ってはいけない場所で遊んでいる・・・など） ○道路に広がって歩いたり、通学路を守らずに近道を歩いたりする子どもがいる。 ○防犯ブザーをつけていない子どもが多い。 ○通学路に崩れそうな壁がある。 ○学校まで子どもを車で送ってくる保護者がいる。	⇒警察署の方のご協力を借りて、声掛けをしていきたい。 ⇒ グリーンベルトなどでゾーン30を目立たせる。 （警察の協力を要請したい。） ⇒学校と家庭でもっと注意喚起していく。 購入するときには、家庭でルールを意識する。 ⇒学校と家庭での注意喚起（見かけた人には、お声掛けをしていただく。） ⇒学校と家庭で再度確認 （ブザーがきちんと鳴るかどうかも確認！） ⇒私有地のため交渉も難しい。自治会や行政からの働きかけをお願いしたい。 ⇒なるべく広い場所で降車させていただく。
その他	○子どもの遊び場が少ない。 ○子ども会の加入率が少ない。 ○公園にゴミを捨てて帰る人がいる。 ○蜂の巣があって、対処に困る。 ○公園のトイレが汲み取り式のため、臭いが気になる。	⇒学校の運動場の開放をお願いしてみたい。 （但し、日にちと時間やルールを決めて） ⇒子ども会へ入る特典を何か考える。 （ＰＴＡ役員の免除など…学校と相談していければ…） ⇒見つけ次第、声掛け！ ⇒役場での情報を共有化 （駆除の際の防護服の貸し出し等） ⇒行政へ要望を出していきたい。

★参加者からたくさんの感想をいただきました。一部抜粋してご紹介します★

- 地域の方と間近に顔を合わせてお話をするとてもいい時間に参加させてもらい、とてもありがたかったです。
- 「地域で気になっていること」について、みなさん同じようなことが気になっていることがわかった。
- あいさつ、声掛けの輪を広げていってできることから実践していこうと思いました。
- 子どもたちが地域の方々の支えで安全に楽しく生活できていることを知り、感謝しています。
- 子どもたちのいい手本になるよう、まずは大人がルールを守る大切さ！！大事だと感じました。